

### 山科まちづくりサポート講座 等身大で発信名人！ わたしたちの「広報戦略」

まちづくり活動において、広報活動は欠かせないものであることは言うまでもありませんが、「どこまでやったらいいのかわからない」「がんばっても効果が感じられない」など、お悩みの方も多いため、いま一度、「広報」について、最近の傾向や、自分自身でやること、またどうしたら効果があがるかなど、一緒に考えてみませんか。

- 日時／9月30日(水)午後7時～9時
  - 会場／区役所2階大会議室
  - 講師／加藤 和子氏(ICTアドバイザー・プランナー)
  - 定員／20名 ●参加費／無料
  - 持ち物／これまでに作ったチラシ、広報物など
- ①事例検証  
②こんなときどうする  
③グループワーク  
④コピーライティングに挑戦  
⑤申し込み方法／①氏名、②住所、③電話番号、④メールアドレスを添えて、申し込み先へ

### 8月30日 京都市総合防災訓練を実施

今回は、市内で初めて土砂災害への対応訓練を実施した他、大津市との協働での避難所運営訓練を行いました。勸修寺公園グラウンドでは、山科川の氾濫を想定し、区民の方が土のうを作成するなど実践的な訓練が実施された他、区内各所で様々な訓練が行われました。



今後とも皆様と共に区防災行政を進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。  
●問い合わせ先／区総務・防災担当(☎592-3066)

### 「明日の山科を考える」 山科区自治連合会 連絡協議会総会を開催

8月7日、平成27年度山科区自治連合会連絡協議会総会「明日の山科を考える」が開催されました。町内会離れや役員の内手不足に悩む区内13学区の自治連合会の皆さんが、行政機関と話し合い、魅力ある町内会づくりや地域の安心・安全などについて熱心な討論がくり広げられました。



●問い合わせ先／区まちづくり推進担当(☎592-3088)

### 第84回おもむきびミーティングを実施

7月15日、安朱小学校で、山科駅前セーフティネットのメンバーと門川京都市長がおむすびミーティングを行いました。同セーフティネットは、山科駅周辺の路上駐輪の掃や、安朱学区の安心安全マップの作成(子ども110番のい交流ラリーの開催など)、地域のきずなを深めるとともに、地域住民と山科駅周辺の利用者の安心安全の確保に取り



### 周辺住民の迷惑になるような 野良猫への餌やりはやめましょう

「京都市動物との共生に向けたマナー等に関する条例」により、周囲の生活環境に悪影響を与えるような所有者のない動物への餌やりは禁止されました。野良猫に餌を与えるときは、以下のマナーを守りましょう。

- 1 事前に、周辺住民に対し連絡先を伝え、餌やり方法を説明するか、問い合わせ先に届けを出し、配布されたプレートを掲示する。また、掃除の要望に誠実に対応するなど、周辺にお住まいの方への配慮を行う。
- 2 周辺の方がグループで行い、餌をやる場所はご自宅等承諾のある場所とする。餌は、必ず後片付けし深夜早朝の餌やりはしない。
- 3 周囲の清掃等を徹底し、糞尿で周囲を汚さない。
- 4 餌を与える野良猫は、早急に飼主を見つけるか、避妊、去勢を行う。また、猫は餌を与える方一人当たり5匹以下を目安とし、増やさない。

詳しくは… [京都市 野良猫 マナー](#)

●問い合わせ先／区保健センター衛生課(☎592-3489)

### がん征圧月間

9月は、がん征圧月間です。京都市では、以下の表のとおり、がん検診を実施しています。定期的に検診を受けましょう。検査日、検査場所はお問い合わせください。

部位 対象者	検査周期	検査内容	料金 (免除制度あり)
胃 40歳以上	1年に1回	・問診 ・バリウムによる胃部X線撮影	1,000円
大腸 40歳以上		・問診 ・便潜血検査(検便)	300円
肺 40歳以上	2年に1回 (年内は偶数年齢の方が対象)	・問診・胸部X線撮影 ・喀痰検査(必要な方のみ)	無料 (喀痰検査は1,000円)
乳房 30歳以上の女性		・視触診 ・エコー検査(30歳代)またはマンモグラフィ検査(40歳以上)	1,300円
子宮 20歳以上の女性	2年に1回 (年内は偶数年齢の方が対象)	・問診 ・子宮頸部(入口部分)の細胞診	1,000円
前立腺 50歳以上の男性		・血液検査(PSA検査)	1,500円

●問い合わせ先／区保健センター成人保健・医療担当(☎592-3477)

### じぶんの町を 良くするしくみ

**赤い羽根共同募金**

10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金

©L5/YWP-TX

### 第35回 みんな「第2期山科区基本計画」に取り組もう！ 区民活動きずなリレー

みなさんは車石をご存知ですか？江戸時代に、京都を通る三街道(東海道・竹田街道・島羽街道)の車道に牛車(牛車)が通るようになって、牛車(牛車)の通行で自然に形成された。この車石について長年研究し、成果を発信しているのが車石・車道研究会。事務局長の久保さんにお話を伺いました。「埼玉県の中学校校長が車石についてHPを作成されたのがきっかけで交流が始まり、研究会を立ち上げました。その後、毎年シンポジウムとフィールドワークを開催し、3年前には大津市歴史博物館と共催で企画展を行ったそうです。参加者を中心に会員の輪が広がり、現在では60～70人とのこと。

「江戸時代、大津の港から京都までの牛車による米輸送は大津の経済を支える重要な役割を担っていました。土道の街道は雨が降ると車輪が埋まって思うように通行できませんでした。そこで、東海道では、約200年前に街道と平行に設けられた車道に牛車の車輪の幅に合わせた石を敷くという土木工事が行われたのです。その敷石が車輪ですり減って溝ができて『車石』となりました。」と久保さん。車石は当時の物流や交通、そして生活についても今に伝える貴重な文化財であり、車石を調べることは当時の生活についても調べることに、興味を尽きないとのこと。牛車の車輪の幅は？石の産地は？工事の経費は誰が出したのか？研究により、これらの謎は次第に明らかになってきたそうです。車石の溝についても、以前は人工的に彫られたとされてきましたが、牛車の通行で自然に形成されたらしいことが分かってきました。

車石は明治以降の道路工事で撤去されて、街道近くの民家の石垣や側溝などに使われているのが今でも確認できます。また、山科の小学校全13校には車石が展示され、児童が学べるようになっています。

久保さんは語ります。「車石は今のところ日本では京都を通る三街道だけでしか確認できない貴重なものです。世界に目を向けると、ポンペイの遺跡に似ているものがあります。」世界有数の遺跡と比べるスケールの大きさに驚かされます。

確認できる車石はすべて調査されたそうです。個人宅に眠る車石は調査手段がないとのこと。もしご存知の方がいらっしゃれば、調査に協力してほしいとのことですので、問い合わせ先にご連絡ください。(京都市まちづくりアドバイザー 佐藤友一)

●問い合わせ先／車石・車道研究会(久保) (☎611-7678)

区総務・防災担当(☎592-3066)



復元された車道。2列の車石の間を牛が歩きます。(閑栖寺、大津市横木)